

PCビューワー DVR Video Player

はじめに

この専用PCビューワーソフト「DVR Video Player」は、Windows版のパソコンにダウンロードし、「SV5-MDR-A002」で撮影した映像を閲覧できるソフトとなります。

対象機種

ドライブレコーダー:SV5-MDR-A002C1A

ドライブレコーダー:SV5-MDR-A002C2A

ドライブレコーダー:SV5-MDR-A002C2B

推奨動作環境

対応OS	Microsoft® Windows® 10以上
CPU	2 GHz以上で2コア以上のCPU
メモリ	RAM 1GB (DDR3) 133MHz 以上
HDD	1 GB 以上の空き容量が必要
ディスプレイ	1280x720以上の解像度で表示可能なディスプレイ
対応ブラウザ	Microsoft® Edge以降 ※(Microsoft® Edge WebView2 Runtime 必須※) <div data-bbox="502 1048 1437 1292" data-label="Complex-Block"> <div>  <p>MicrosoftEdgeWebView2RuntimeInstallerX64.exe</p> </div> <div> <p>※DVR Video Player を利用するためには、コントロールの Microsoft® WebView2 Runtime が必要です。 上記コントロールがインストールされていない場合、インストールを行ってください。</p> </div> </div>
その他	<p>※使用時にシステム管理者 (Administrator) 権限が必要な場合があります</p> <p>※microSDカードを読み込みできるパソコン環境が必要です。お使いのパソコンがmicroSDカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください。</p> <p>※シンボリックリンクでの動作保証はしていません。</p> <p>※インターネット環境が必要となります。</p>

⚠ 注意

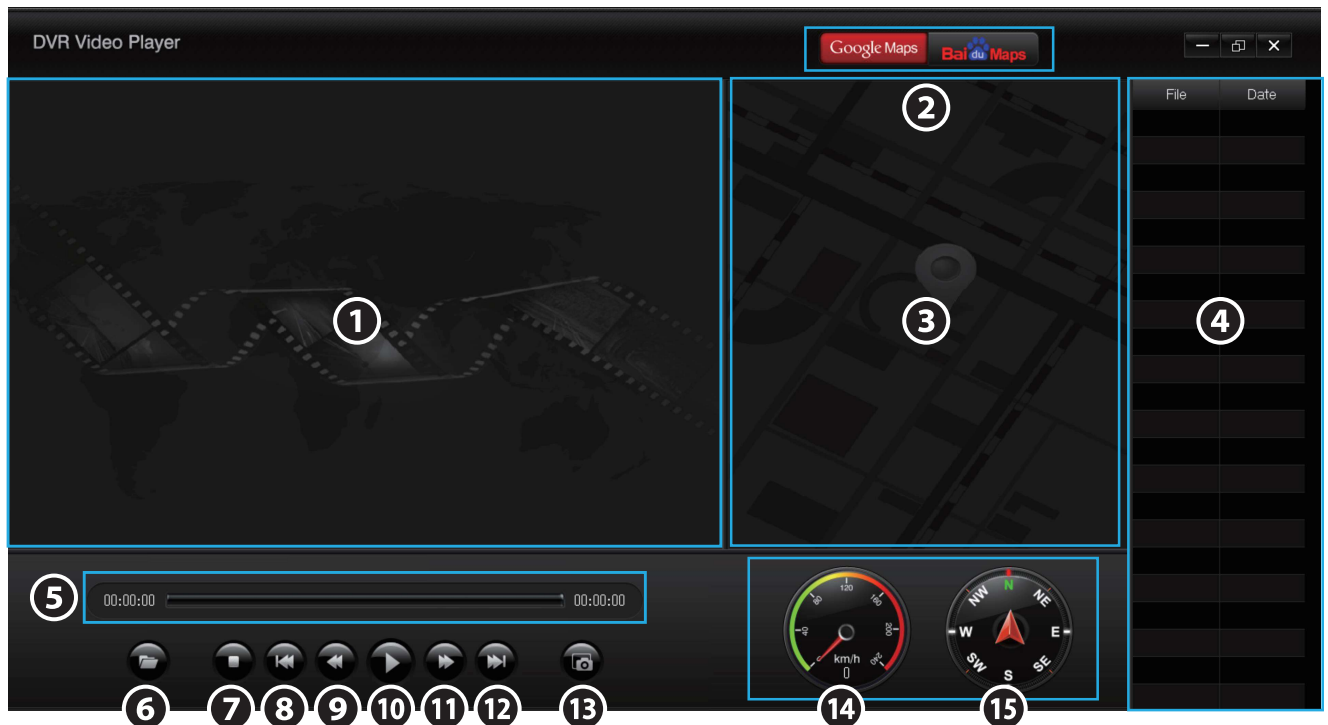
- パソコンのスペックにより、動作しない場合があります。
- 上記およびホームページに記載のあるパソコンのスペックを満たしている場合であっても、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
- OSのアップグレード環境、マルチブート環境での動作は保証していません。
- 自作パソコン、タブレットパソコンでの動作は保証していません。
- パソコンの環境によっては、microSDカードが認識できなかったり一部機能をご利用頂けないなどの症状が発生する場合があります。その際の損失ならびにその他の直接または間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いかねます。
- パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコン各メーカーまたは販売店にお願いします。仕様変更および改良のため、予告なくバージョンアップする場合があります。その際、地図表示内容やソフトの表示、操作が変更される場合があります。
- パソコンのスペック変更等がされた場合、本ソフトが正しく動作しない場合があります。

主な機能と操作について

「DVR_Player」フォルダ内の「DVR_Player.exe」をダブルクリックすると、起動します。

※「DVR Video Player」を起動した際、ウイルスセキュリティソフトが警告が表示される場合があります。

内容を理解した上で、ご利用ください。



① 再生画面

フロントまたはリヤカメラで撮影した映像画面を表示・再生します。

② 表示地図を設定します。

表示地図を「GoogleMap」と「OpenStreetMap」に設定します。

※設定した表示地図はソフトを終了すると初期設定値の「GoogleMap」に戻ります。

③ 地図表示

再生映像の位置情報と読み込んだファイルの走行位置を地図上に表示されます。

※GPSを受信できていない場合は、地図が表示しません。

※GPSの受信状態によっては、地図上の道路に正しくマッチングされない場合があります。

④ ファイルリスト

ファイルブラウザから選択した動画ファイルをリスト表示します。

このリストから動画を選択するとファイルが再生されます。

⑤ シークバー

現在の再生位置を表示、変更します。

⑥ ファイルブラウザ

再生するファイルを選択できます。

⑦ 停止

ファイルの再生を停止します。

⑧ ファイル戻し

一つ前のファイルを再生します。

⑨ 5秒戻し

再生中の映像を5秒前に戻します。

⑩ 再生・一時停止

再生中のファイルを一時停止します。

一時停止中の場合は、再度再生します。

⑪ 5秒送り

再生中の映像を5秒後に進めます。

⑫ ファイル送り

一つ後のファイルを再生します。

⑬ 静止画キャプチャー

再生されている再生画面を静止画キャプチャーします。

※保存先が設定されていない場合は、保存先を設定してください。

⑭ 速度表示

自車の進行速度を表示します。

※内蔵GPSにより算出しているため、実際の速度に誤差が生じる場合があります。

⑮ 方位表示

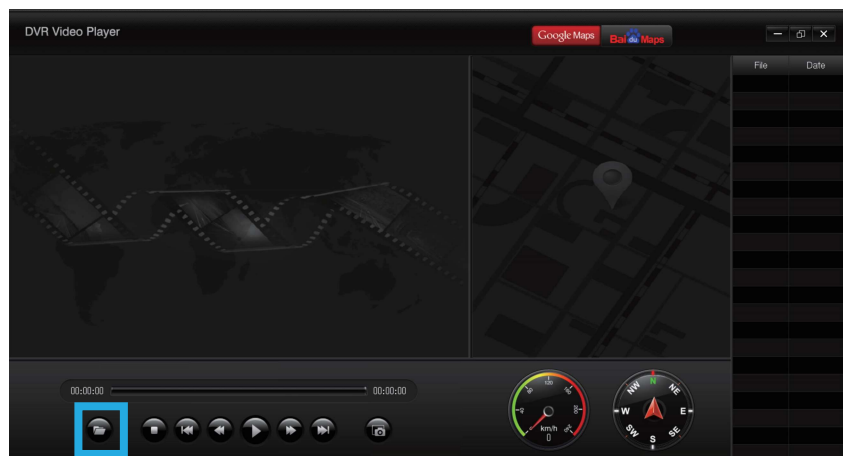
自車の進行方向を表示します。

※内蔵GPSにより算出しているため、実際の方位に誤差が生じる場合があります。

再生方法

1.「DVR_Player」フォルダ内の「DVR_Player.exe」をダブルクリックすると、起動します。

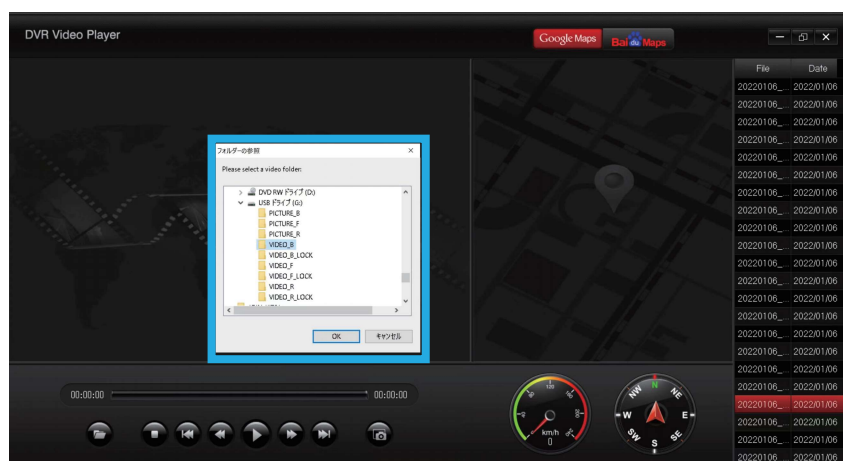
※「DVR Video Player」を起動した際、ウイルスセキュリティソフトが警告が表示される場合があります。
内容を理解した上で、ご利用ください。



2.ファイルブラウザが開かれるので、録画ファイルが保存されているmicroSDカード内の任意のフォルダを選択し、「OK」をクリックします。

※SV5-MDR-A002 の映像が保存されているmicroSDカードを選択してください。

※通常録画、緊急録画はそれぞれのフォルダに格納されています。



3.ファイルリストに選択されたフォルダ内にあるファイル一覧がリスト表示され、再生させたい録画データをダブルクリックすると選択されたファイルが再生されます。



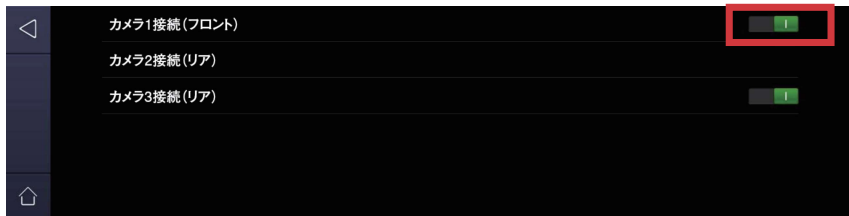
再生について

■GPS位置情報記録データについて

PCビューワーソフトで地図表示や速度表示するには、通常録画（フロントカメラ）と同時に保存するシステムデータファイル (*.index) とGPSログデータファイル (*.log) の取り込みが必要です。

※ システムデータファイル (*.index) とGPSログデータファイル (*.log) は、フロントカメラによる映像記録と同時に、「VIDEO_F」フォルダに保存されます。

リアカメラのみ (SV5-MDR-A002C1A) でご使用される場合でも、本機のシステム設定にて、カメラ接続設定の「カメラ1接続(フロント)」を ON にしてください。



システムデータのファイル名は、撮影年月日時分秒と管理番号「a」で構成され、拡張子は「.index」です。
GPS測位データのファイル名は、撮影年月日時分秒と管理番号「a」で構成され、拡張子は「.log」です。
撮影年月日時分秒「YYYYMMDD_HHMMSS」は同時に記録した録画ファイル名と一致します。

- ・システムデータファイル: YYYYMMDD_HHMMSSa.index
- ・GPSログデータファイル: YYYYMMDD_HHMMSSa.log

例: 2022年02月28日11時20分52秒に記録した通常録画

名前	更新日時	種類	サイズ
20220228_111852a.ts	2022/02/28 11:19	TS ファイル	66,195 KB
20220228_112052a.index	2022/02/28 11:21	INDEX ファイル	1 KB
20220228_112052a.log	2022/02/28 11:21	テキストドキュメント	35 KB
20220228_112052a.ts	2022/02/28 11:21	TS ファイル	65,290 KB
20220228_112152a.index	2022/02/28 11:22	INDEX ファイル	1 KB
20220228_112152a.log	2022/02/28 11:22	テキストドキュメント	37 KB
20220228_112152a.ts	2022/02/28 11:22	TS ファイル	66,241 KB
20220228_112852a.index	2022/02/28 11:29	INDEX ファイル	1 KB
20220228_112852a.log	2022/02/28 11:29	テキストドキュメント	37 KB

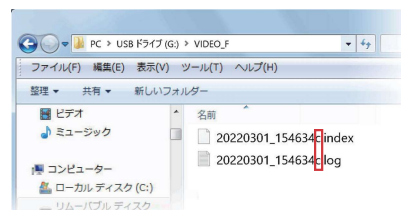
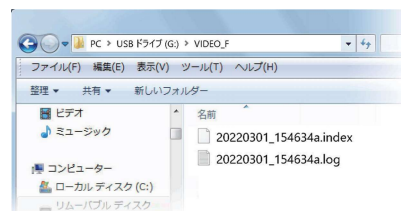
■緊急録画のGPS情報表示について

PCビューワーソフトで緊急録画（フォルダ: VIDEO_F_LOCK、VIDEO_B_LOCK、VIDEO_R_LOCK）を再生する際に、地図表示や速度表示をするには、「VIDEO_F」フォルダ内に一致するシステムデータファイル (*.index) とGPSログデータファイル (*.log) のファイル名称（管理番号）を変更した上で、緊急録画フォルダ（VIDEO_F_LOCK、VIDEO_B_LOCK、VIDEO_R_LOCK）へ保存（コピー）する必要があります。

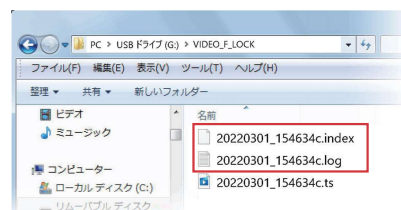
① 緊急録画ファイル名称の管理番号（「c」、「d」、「e」）に合わせるように、「VIDEO_F」フォルダ内のシステムデータファイル (*.index) とGPSログデータファイル (*.log) のファイル名称を変更してください。

例:

- ・「VIDEO_F_LOCK」緊急録画（手動）映像ファイル: YYYYMMDD_HHMMSSc.ts
- ・「VIDEO_F」フォルダ内のシステムデータファイル: YYYYMMDD_HHMMSSa.index
→ 手動で名称変更: YYYYMMDD_HHMMSSc.index
- ・「VIDEO_F」フォルダ内のGPS測位データファイル: YYYYMMDD_HHMMSSa.log
→ 手動で名称変更: YYYYMMDD_HHMMSSc.log



② ファイル名称変更後のシステムデータファイル (*.index) とGPSログデータファイル (*.log) を緊急録画フォルダ（VIDEO_F_LOCK、VIDEO_B_LOCK、VIDEO_R_LOCK）に保存してください。



再生について(つづき)

※緊急録画ファイルをパソコンに保存する時には、一致するシステムデータファイル(*.index)とGPSログデータファイル(*.log)も同じ保存場所に保存してください。

※システムデータファイル(*.index)とGPSログデータファイル(*.log)を消去すると、該当映像再生時の地図表示や速度表示が出来なくなりますので、ご注意ください。

※一致する録画ファイルが削除されても、システムデータファイル(*.index)とGPSログデータファイル(*.log)は、「VIDEO_F」フォルダ内に蓄積します。

■位置情報や車速情報、方位について

位置情報や車速情報、方位は、GPSによって取得される情報となります。GPS信号が記録されていない場合、表示することができません。

また、表示される情報は実際の情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■地図表示について

Google Map を表示するには、動画の再生を始める前にインターネットに接続する必要があります。

また、PC ビューワーソフトおよび地図ソフトのバージョンアップ等によって、地図表示や地図表現が変更される場合があります。

■GoogleMapの警告メッセージ表示について

グーグルマップの画面に以下のようなアラートが表示される場合は、「表示しない」をクリックすると閉じることができます。

※このアラートはグーグルマップAPIのInternet Explorer 11 (IE11) サポート期限が近づいているために表示されています。
メッセージは表示されていても問題なく動作します。



※動画を PC に保存しておきたい場合は、コピーしてください。切り取りすると microSD カードエラーが発生します。

※動画再生中に microSD カードを抜かないでください。

※Google および Google ロゴ、Google マップ および Google マップ ロゴ は、Google LLC の商標または登録商標です。